

DECO

— tape saturation & doubletracker

日本語ユーザーマニュアル



strymon®

もくじ

各部の名称と働き	3
フロントパネル・コントロール	3
入力レベル&サチュレーションレンジの詳細	6
ラグタイム レンジ	7
リアパネル/I/O & コントロール	9
ライブエディット機能	11
オート- フランジ タイム	11
Low Trim	12
Doubletracker ブースト/ カット	13
ワイドステレオモード	14
MIDI クロックとの同期	15
MIDI エクスプレッションへの反応	16
パワーアップモード	17
入力レベル	17
バイパスモード	18
EXP/MIDI ジャックの設定	19
外部コントロール	21
エクスプレッションペダル セットアップ	21
フェイバリットスイッチ セットアップ&コンペア モード	22
タップ モード	24
MultiSwitch Plus の設定、使用法	25
Deco のプリセットをMultiSwitch Plus でセーブする	26
MIDI 機能	27
MIDI チャンネルの設定	27
MIDI モードにおけるプリセットの保存	32
MIDI スペシフィケーション	33
MIDI プログラムチェンジ	33
MIDI CCs	34
ファクトリーリセット	35
主な仕様	37
スペシフィケーション	38
Appendix 1: サンプルセッティング	39
Appendix 2: パワーアップモード クイックリファレンス	41
ジェネラル・オプション	42
MIDI & Jack オプション	43
Appendix 3: ライブエディットコントロール クイックリファレンス	44
品質保証に関して	46

各部の名称と働き

フロントパネル・コントロール - テープサチュレーション

VOICE

2つのテープマシーンからスタイルを選択します。

Classic : 2トラックマスタリングテープマシンのレスポンスやサチュレーションを再現します。

Cassette : オートレベルコントロール (ALC) プロセス機能がある高性能カセットデッキを再現しています。コンプレッションされたファットなトーンが特徴です。

SATURATION

プリアンプのゲインを調整し、テープドライブの深さを設定します。低い設定値ではハーモニクスが僅かに強調され、設定を上げるとコンプレッションと歪みが共に増加します。詳しくは[6ページ](#)をご覧ください。

STONE

テープサチュレーションのトーンをダーク〜ブライト間で調整します。

VOLUME

サチュレーションの出力ボリュームを調整します。

TAPE SATURATION ON

DECOのテープサチュレーション効果のON (レッドLED点灯) /OFFを切り替えるフットスイッチです。バイパスモードはトゥルーバイパスがデフォルト設定です。詳しくは[18ページ](#)をご覧ください。



各部の名称と働き

フロントパネル・コントロール - ダブルトラッカー

.... TYPE

位相や内部ルーティングにより、音色や低域のレスポンスを変化させます。

sum : 2台のデッキが同位相でサミングされます。

invert : 「ラグ・デッキ」側が逆位相でサミングされます。

bounce : 「ラグ・デッキ」側の右チャンネルを逆位相にし、それが左チャンネルに入力されます。モノ出力又はワイドステレオモードonの時には、ダブルリピートが得られます。ワイドステレオモードoffでは、ステレオ時には「ピンポン・ディレイ」のような効果が得られます。

.... LAG TIME

2台のデッキ間の時間差を調整します。「リファレンス・デッキ」と「ラグ・デッキ」の時間差でダブルトラッキング・テープエフェクトが生まれます。このコントロールでは、その設定を行います。

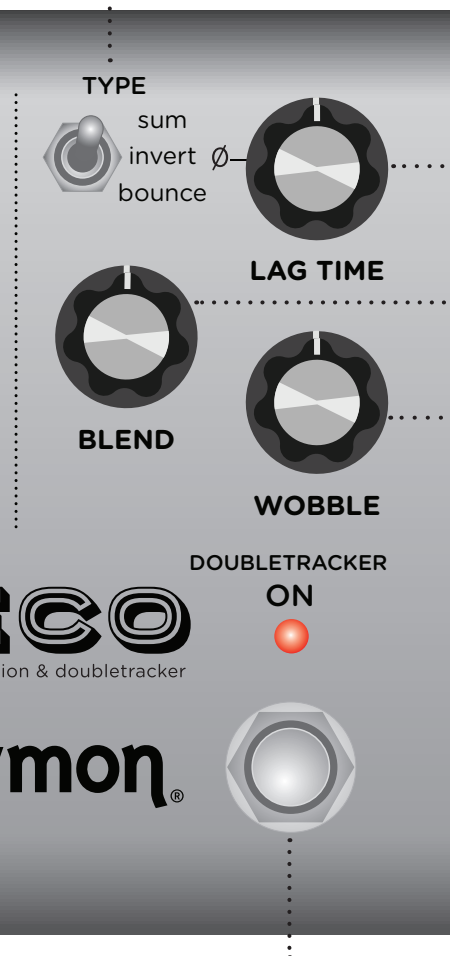
最小〜12時の設定では「フランジャー」、それ以上の設定では「コーラス」や「スラップバック・ディレイ」が得られ、最大設定時には500mSecの「エコー」が設定できます。詳しい説明は[7ページ](#)をご覧ください。

.... BLEND

2台のテープデッキのミックス・レベルをTYPEスイッチの選択により決定します。左に回し絞られると原音にあたる「リファレンス・デッキ」側の音量が増し、ダブルトラッキング効果が抑えられます。反対に時計回りに回すと、「ラグ・デッキ」側に対して大きくなるため、ディレイ効果は小さくなります。この設定を上げると「ラグ・デッキ」側のミックスが増え、ディレイ効果がより大きくなります。12時の位置で2台のデッキのバランスが同等になります。

.... WOBBLE

「リファレンス・デッキ」から遅れた「ラグ・デッキ」の音に、ランダムなモジュレーションを加えます。低い設定値ではモジュレーション効果が小さく、エンジニアがフランジング効果を得る為にタイム調整をするそれと似ています。高い設定ではより過激に変化します。



DOUBLETRACKER ON

Decoのダブルトラッカー・エフェクトのON（**レッド**LED点灯）/OFFを切り替えるフットスイッチです。（詳しくは[18ページ](#)をご覧ください。）

NOTE : このスイッチを長押しするとオートフランジ効果が得られます。（詳しくは[5ページ](#)をご覧ください。）

各部の名称と働き

フロントパネルコントロール - オートフランジ On/Off

DOUBLETRACKER ON (AUTO-FLANGE ON) フットスイッチを長押しします。すると、アナログ時代にスタジオエンジニアが駆使したオートフランジが得られます。このテクニックは、フェーダーとテープリールのコントロールで生まれ、スルー・ゼロ フランジ効果が得られます。



NOTE : オートフランジのタイム設定は[11ページ](#)をご覧ください。

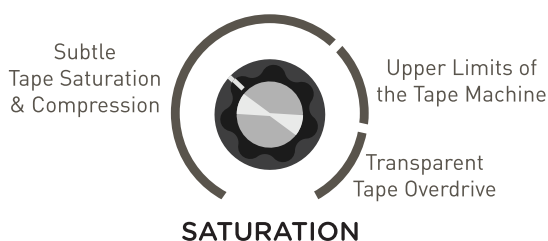
各部の名称と働き

入力レベル&サチュレーションレンジの詳細

サチュレーション・ノブは、広いレンジの入力信号レベルに対して、テープ・サチュレーション効果を設定します。テープ・サチュレーション効果は、目的とする使い方より入力レベルや機材によって効き方が異なります。下記は一般的な使用に対するガイドラインです。

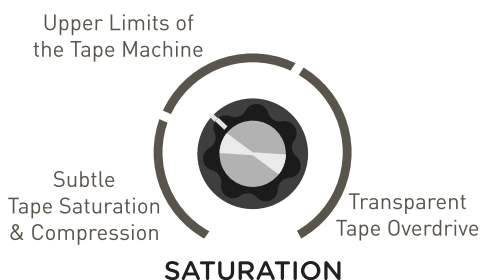
低出力のインストルメント・レベルの場合

Deco をアンプの前に接続する場合、低出力のシングル・コイルピックアップでは、豊かな倍音と僅かなオーバードライブが得られます。



高出力のインストルメント・レベルの場合

Deco をアンプの前に接続する場合、高出力のハムバックング・ピックアップでは、サチュレーション・ノブを最大にした時、かなりヘヴィーにオーバードライブされた倍音が追加されます。

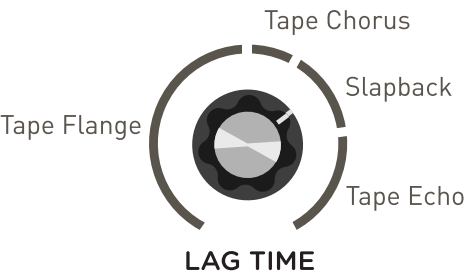


ラインレベルの場合

Deco へは最大 +8dBu の信号が入力できます。ギター・アンプのエフェクトループやミキサーのインサート、シンセサイザー等に接続する際は、**パワーアップモード**で**入力レベル**を変更します。詳しくは [17 ページ](#) の “Input Level” 入力レベルをご覧ください。

各部の名称と働き

ラグタイム レンジ



テープフランジ

<div>0.3 ～ 3ms</div> <div>極短な Lag Time 設定では、コムフィルター/フランジャー効果がスルーゼロ（位相角が 0° を通過した時）の際に生まれます。Wobble ノブ が最小設定では、位相が固定されたサウンドが得られます。</div>	<ul style="list-style-type: none">• Blend が 50:50（12 時のポジション）の設定で、最も明瞭なフランジ効果が得られます。スルー・ゼロ効果は、ディストーションギターや、より周波数帯域がワイドな信号で効果的です。• サチュレーション をクリーンギターに加えるとさらに効果的です。各設定で、Sum/Invert スイッチ を切り替えて異なる音質を確認してみましょう。• Blend ノブ を 12 時以下にして、リファレンス・デッキの成分を増やす、または Lag Time ノブ を 10 時周辺に設定すると、信号が位相角 0° を通過しませんから、位相反転したフランジングでも完全なキャンセリングは発生しません。• 最小 Lag Time と最大 Blend、Wobble 最大のサウンドも試してみてください。
--	--

テープコーラス

<div>3 ～ 50ms</div> <div>より長い Lag Time に設定すると、二人のプレーヤーが同時に同じパートを演奏しているような厚みのあるサウンドが得られます。Wobble ノブ を上げると、より大きなモジュレーションと 2 台のデッキ間の大きなセパレーションが得られます。</div>	<ul style="list-style-type: none">• Blend ノブ を下げるとミックスがリファレンス・デッキ寄りになり、エフェクト効果が薄くなります。• モードスイッチを Sum から Invert に変更すると、低域のレスポンスが変化して異なるトーンが得られます。• Lag Time ノブ を上げると、よりワイドなコーラスサウンドが得られます。
--	---

各部の名称と働き

ラグタイム レンジ

スラップバック

<div>50 ～ 150ms</div> <div>50 年代のロックンロールレコードで初めて登場したスラップバックエコーは、劇場等の大きなスペースの対面壁からの反射音 (エコー) を再現していました。</div>	<ul style="list-style-type: none">Blend ノブが 12 時を超えると、スラップ成分が入力信号よりも大きくなります。この設定では短いスラップタイムをお試し下さい。Blend Type の Invert ポジションを試してみてください。壁に反射したような自然な反射音が得られます。このサウンドでは 3 次元的な立体感が体験できます。モジュレーションを加えるとエコーサウンドに動きが生まれます。
--	--

テープエコー

<div>150 ～ 500ms</div> <div>長めの Lag Time 設定で、ソロやアンビエンスやリズムミッドな効果が得られます。ギターソロなどでお試しください。</div>	<ul style="list-style-type: none">Blend ノブを低めにすると、エコーエフェクトは小さくなり、より遠くで鳴っているように聞こえます。Wobble を付加すると、ランダムな揺れがディレイ音に付加されます。Bounce モードは二重のリピートが得られ、音場を埋める効果が生まれます。
---	--

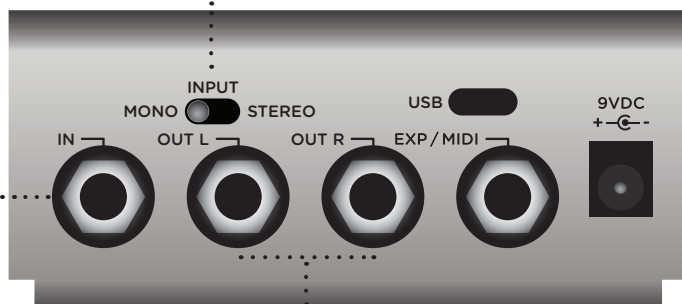
リアパネル I/O & コントロール

オーディオ入力セクター

MONO : ギターのようなモノ入力信号に使用します。

出力はステレオです。モノ出力での使用は**OUT L**のみを使用します。

STEREO : ステレオ入力信号の場合に選択します。出力はステレオです。



IN

モノラル、超低ノイズのディスクリート Class A JFET プリアンプ入力です。ステレオ入力には TRS ステレオアダプターまたは TRS ステレオケーブルを使用します。

OUTPUTS

ローインピーダンスのステレオ出力です。モノ出力使用時は **OUT L** のみ接続してください。

リアパネル I/O & コントロール

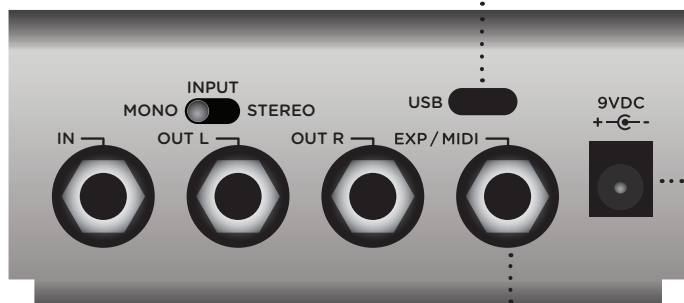
USB

MIDIコントロール、ファームウェアアップデートを行う際にコンピューターと接続するポートです。

9VDC

9VDC（センターマイナス、300mA以上）の電源と接続します。

- 9VDC センターマイナス
- 300mA以上



EXP / MIDI

本機を外部からコントロールできるマルチコミュニケーションジャックです。

以下のオペレーションモードが選択できます。（詳しくは[19ページ](#)をご覧ください。）

エクスプレッションペダルモード：[ページ21](#)

フェイバリットモード：[ページ22](#)

Tapモード：[ページ24](#)

MIDIモード：[ページ25](#) & [ページ32](#)

ライブエディット機能

以下のステップでライブエディットモードに入り、セカンダリー機能のコントロールが設定できます。

オート - フランジ タイム

オート - フランジ効果のスイープタイムを設定します。**Doubletracker ON スイッチ**を長押ししている間だけこの機能が得られます。[5 ページ](#)をご覧ください。

- 1 **TAPE SATURATION ON** フットスイッチを長押し、両 LED が点滅したらスイッチを離します。



- 2 **LAG TIME (AUTO-FLANGE TIME)** ノブを回してスイープスピードを決めます。両 LED が**グリーン** (fast) から**アンバー** (slow) に変化します。デフォルト設定は 12 時の位置です。
- 3 いずれかのフットスイッチを押し、このオプションを保存してプレイモードへ戻ります。

NOTE : このオプション設定は、フェイバリット毎、MIDIプリセット毎に保存できます。

ライブエディット機能

Low Trim

ローパスフィルターで低域を減らし、エフェクトトーンをクリーンにします。

- 1 **TAPE SATURATION ON** フットスイッチを長押しします。
両 LED が点滅したらフットスイッチを離します。



- 2 **TONE (LOW TRIM)** ノブで低域を調整します。TAPE SATURATION ON LED の一時的な点灯を確認し設定します。**グリーン**でフルバンド、**アンバー**でハイパスフィルターが効いた状態を表示しています。
- 3 いずれかのフットスイッチを押し、このオプションを保存してプレイモードへ戻ります。

NOTE : このオプション設定は、フェイバリット毎、MIDIプリセット毎に保存できます。

ライブエディット機能

Doubletracker ブースト / カット

Doubletracker 信号の +3dB または -3dB をブースト / カットしてのレベルマッチングが可能です。

- 1 **TAPE SATURATION ON** フットスイッチを長押しします。
両 LED が点滅したらフットスイッチを離します。



- 2 **BLEND (DOUBLETRACKER BOOST/CUT)** ノブを調整し、Doubletracker レベルを下記のように決めます。両 LED がステータスを表示します。

3dB cut : **グリーン**

+3dB boost : **アンバー**

デフォルト設定は 12 時の位置です。ブーストもカットもないユニティーゲインです。

- 3 いずれかのフットスイッチを押し、このオプションを保存してプレイモードへ戻ります。

NOTE : このオプション設定は、フェイバリット毎、MIDIプリセット毎に保存できます。

ライブエディット機能

ワイドステレオモード

リファレンス・デッキの信号を L 出力、ラグ・デッキ出力を R 出力に送り、ワイドなステレオイメージを生み出します。

- 1 **TAPE SATURATION ON フットスイッチ**を長押ししてライブエディットモードに入ります。両 LED が点滅したらフットスイッチを離します。



- 2 **WOBBLE (WIDE STEREO MODE)** ノブを回し、ワイドステレオモードを On/Off します。DOUBLETRACKER LED がステータスを表示します。

左ポジション：Off **グリーン**（デフォルト設定）

右ポジション：On **レッド**

- 3 いずれかのフットスイッチを押し、ワイドステレオオプションを保存してプレイモードへ戻ります。

NOTE：ワイドステレオモードは、モノ出力を自動的に停止します。（L OUTのみ接続時）
BLENDノブでデッキレベルを調整します。[4ページ](#)をご覧ください。

NOTE：このオプション設定は、フェイバリット毎、MIDIプリセット毎に保存できます。

ライブエディット機能

MIDI クロックとの同期

本機のエコーと MIDI クロックの同期を決定します。

- 1 **TAPE SATURATION ON** フットスイッチを長押しします。
両 LED が点滅したらフットスイッチを離します。



- 2 **TYPE (MIDI CLOCK SYNC)** で、DecoとMIDIクロックとの同期設定を決定します。
両 LED が一時的にステータスカラーに点灯します。

- スイッチを下げて同期を**オフ**にする：**レッド**（デフォルト設定） - MIDI クロックと非同期です。
- スイッチを **sum** にして同期を**オン**にする：**ブルー** - MIDI クロックと同期します。

NOTE : MIDIに同期すると、**DOUBLETRACKER ON LED**が**ピンク**に点灯します。**LAG TIME**ノブが入力されるクロックテンポのマルチプライヤー/ディバイダーの働きをします。設定は左から x1、x2、x3、x4、x6、x8に設定でき、最大ディレイタイムは500msecです。

- 3 いずれかのフットスイッチを押し、MIDI クロック設定を保存してプレイモードへ戻ります。

NOTE : MIDIクロックセッティングは、フェイバリット毎、MIDIプリセット毎に保存できます。

ライブエディット機能

MIDI エクスプレッションへの反応

MIDI モード設定の際、本機が MIDI エクスプレッション CC#100 を受け (0= ヒール〜127= トウ)、TRS エクスプレッションペダルと同様のノブセッティングコントロール動作をするかを決定します。

- 1 **TAPE SATURATION ON** フットスイッチを長押しします。
両 LED が点滅したらフットスイッチを離します。



- 2 **VOICE (MIDI EXP)** スイッチで MIDI エクスプレッション CC#100 への反応を決定します。両 LED が一時的にステータスカラーに点灯します。
 - スイッチを **classic** にセットすると MIDI エクスプレッションが **On** になり、一時的に **ブルー** に点灯します。- MIDI エクスプレッションに反応します。(デフォルト設定)
 - スイッチを **cassette** にセットすると MIDI エクスプレッションが **Off** になり、一時的に **レッド** に点灯します。- MIDI エクスプレッションに反応しません。
- 3 いずれかのフットスイッチを押し、MIDI エクスプレッションを保存してプレイモードへ戻ります。

NOTE : MIDIエクスプレッションセッティングは、フェイバリット毎、MIDIプリセット毎に保存できます。

パワーアップモード

入力レベル

エフェクトプロセッシングへの入力レベルの選択です。

- 1 **DOUBLETRACKER ON** フットスイッチを長押ししながら電源を接続します。
両 LED が点滅したらフットスイッチを離します。



- 2 **SATURATION (INPUT LEVEL)** ノブで入力レベルモードを変更します。
ノブを回すと TAPE SATURATION ON LED がステータスカラーに点灯します。
 - **ノーマル：グリーン** (デフォルト設定) - 入力のヘッドルームがギター信号レベルに設定されます。
 - **スタジオ：レッド** - 入力ヘッドルームが 10dB 上がり、ラインレベルに対応します。
- 3 いずれかのフットスイッチを押し、入力レベルを保存してプレイモードへ戻ります。

NOTE : パワーアップモード設定は、同じ方法で変更されるまで有効です。
セッティングはプリセット毎に保存できません。

パワーアップモード

バイパスモード

本機でバッファードバイパスを選択すると、長いケーブルでギターを繋いだ時に起こる（入力信号の）高域の劣化が防げます。

- 1 **DOUBLETRACKER ON** フットスイッチを長押ししながら電源を接続します。
両 LED が点滅したらフットスイッチを離します。



- 2 **LAG TIME (BYPASS MODE)** ノブでバイパスモードを変更します。
DOUBLETRACKER ON LED がステータスカラーに点灯します。

- トゥルーバイパス：**グリーン**（デフォルト設定）
- バッファードバイパス：**レッド**

- 3 いずれかのフットスイッチを押し、バイパス設定を保存してプレイモードへ戻ります。

NOTE：パワーアップモード設定は、同じ方法で変更されるまで有効です。
バイパスモードの設定はプリセット毎には保存されません。

パワーアップモード

EXP/MIDI ジャックの設定

- 1 **TAPE SATURATION ON** フットスイッチを長押ししながら電源を接続します。
両 LED が点滅したらフットスイッチを離します。



- 2 **LAG TIME (EXP/MIDI JACK)** で EXP/MIDI ジャックの動作機能を変更します。
DOUBLETRACKER ON LED がステータスカラーに点灯します。

- **エクスプレッションペダルモード：グリーン**（デフォルト設定） - TRS エクスプレッションペダル（推奨 25k Ω）を接続し、アサインしたコントロールノブがペダルから操作できます。（詳しくは [21 ページ](#) をご覧ください。）
- **フェイバリットモード：アンバー** - strymin MiniSwitch でフェイバリットセッティングがリコールできます。（詳しくは [22 ページ](#) をご覧ください。）
- **タップモード：レッド** - LAG TIME がタップインでセットできます。推奨フットスイッチ：strymin MiniSwitch（詳しくは [24 ページ](#) をご覧ください。）
- **MIDI モード：ブルー** - strymin MultiSwitch Plus（3 プリセット）でプリセットリコールが可能です。また、ジャックが 1/4" TRS MIDI 仕様になり、MIDI コントローラー（300 プリセット）を接続して MIDI フル機能が使用できます。（MultiSwitch Plus に関しては [25 ページ](#)、MIDI に関しては [32 ページ](#) をご覧ください。）

パワーアップモード

EXP/MIDI ジャックの設定



- 3 いずれかのフットスイッチを押し、EXP/MIDI ジャック設定を保存してプレイモードへ戻ります。

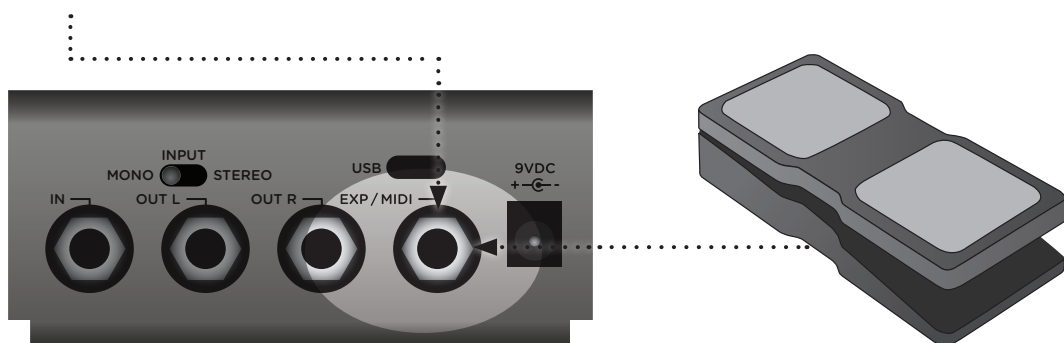
NOTE : パワーアップモード設定は、同じ方法で変更されるまで有効です。
設定はプリセット毎には保存されません。

外部コントロール

エクスプレッションペダル セットアップ

TRSタイプのエクスプレッションペダルで、本機のコントロールノブを操作することができます。

- 1 EXP/MIDIジャックをエクスプレッションモードに設定します。
(詳細は[19ページ](#)をご覧ください。)
- 2 EXP/MIDIジャックにエクスプレッションペダルをTRSケーブルで接続します。



- 3 両LEDが**グリーン**に点滅するまで、両フットスイッチを同時に長押しします。
- 4 エクスプレッションペダルをヒール側にロックします。
TAPE SATURATION ON LEDのみが**グリーン**に点滅します。
- 5 ペダルのヒールポジションでコントロールしたいノブポジションを決めます。
TAPE SATURATION ON LEDのみが**レッド**に点灯します。
- 6 エクスプレッションペダルをトゥ側にロックします。
DOUBLETRACKER ON LEDのみが**グリーン**に点滅します。
- 7 ペダルのトゥポジションでコントロールしたいノブポジションを決めます。
DOUBLETRACKER ON LEDのみが**レッド**に点灯します。
- 8 いずれかのフットスイッチを押し、エクスプレッションペダルセットアップを保存してプレイモードへ戻ります。

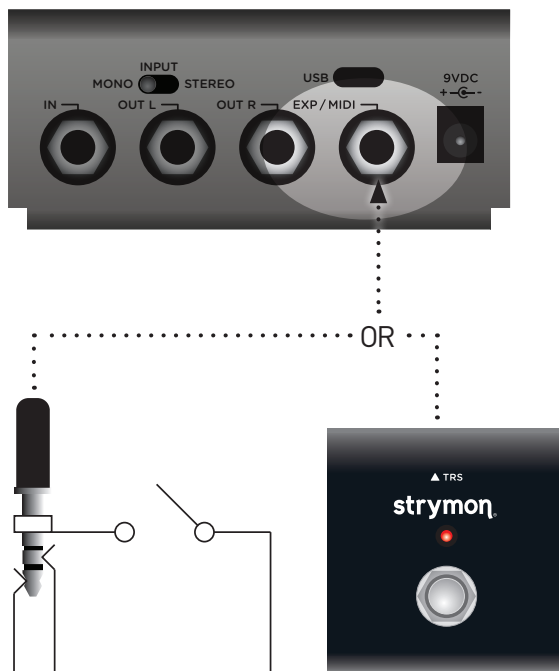
NOTE : エクスプレッションペダルの設定は、フェイバリット毎、MIDIプリセット毎に保存できます。

NOTE : DecoがMIDI EXPRESSIONに設定され、EXP/MIDIジャックがMIDIモードに設定されると、エクスプレッションペダルはMIDI CC# 100 values 0 (ヒール) ~ 127 (トゥ) で動作します。

外部コントロール

フェイバリットスイッチ セットアップ&コンペア モード

フェイバリット設定のセーブとリコールには、MiniSwitchまたはTRSケーブル仕様のラッチスイッチを接続して行います。



- 1 EXP/MIDIジャックをFAV（フェイバリット）モードにします。
（詳しくは[19ページ](#)をご覧ください。）
- 2 外部スイッチをTRSケーブルでEXP/MIDIジャックに接続します。
- 3 コントロールをFAV保存するサウンドに設定します。
- 4 FAV設定を保存するには、**グリーン**に点滅するまで両フットスイッチを長押しします。その後、再度**TAPE SATURATION ON LED**が**ブルー**に点滅するまで、**TAPE SATURATION ON** フットスイッチを長押しします。これで保存は完了です。

外部コントロール

コンペアモード

FAVとMIDIプリセットがリコールされているとき、ノブやスイッチを変更しセーブされたプリセットポジションに合うと、両LEDが**グリーン**に点滅します。

NOTE : 両チャンネルの全ライブエディット設定とバイパス設定は、ノブやスイッチ設定と一緒にFAV&MIDIセッティングとして保存されます。パワーアップモードはプリセットには保存されません。

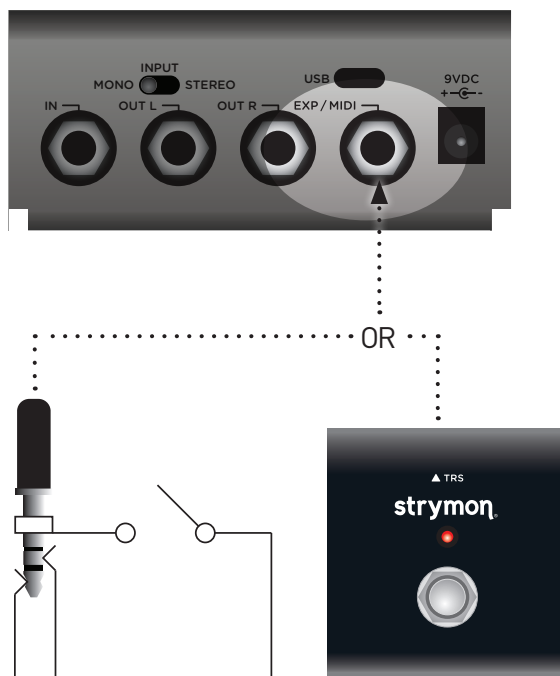
NOTE : MIDIを使用している際のプリセットセーブは方法が異なります。
(詳しくは[27ページ](#)をご覧ください。)

NOTE : FAVセッティングはMIDI PC #0番にセーブされます。

外部コントロール

タップモード

MiniSwitchまたは外部モーメンタリーフットスイッチをTRSケーブルで本機と接続します。



- 1 EXP/MIDIジャックをタップモードに設定します。
(詳しくは[19ページ](#)をご覧ください。)
- 2 外部スイッチをEXP/MIDIにTRSケーブルで接続します。
- 3 1/4音符のテンポでタップ入力すると、1/8音符のLag Timeが設定されます。

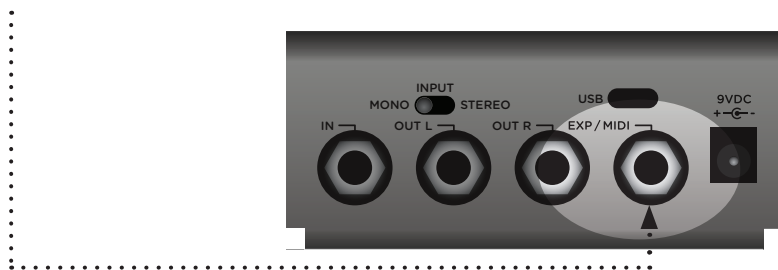
NOTE：タップモード中に外部フットスイッチを長押しすると、オート-フランジ効果が即座に得られます。フットスイッチを離すと元の機能に戻ります。([5ページ](#) の詳細をご覧ください。)

外部コントロール

MultiSwitch Plus の設定

本機とMultiSwitch Plusを接続し、3つのプリセットにリモートアクセスする設定方法です。

- ① **TAPE SATURATION ON** フットスイッチを押したまま電源を投入します。
両 LED の点滅が止まったらフットスイッチを離します。
- ② **SATURATION** ノブを最小に回し（左に回し）、MIDI チャンネルを **1** に設定します。
DOUBLETRACKER ON は **グリーン** に点灯します。
- ③ **TONE** ノブを回し、次の **MIDI OUT オプション** を選択します。
両 ON LED が以下のように点灯します。：
 - MIDI CC、PC、他のデータを送る：ホワイト
 - MIDI CC、他のデータを送る： **グリーン**
 - MIDI PC、他のデータを送る： **パープル**
 - 他のデータを送る： **アンバー**
- ④ **LAG TIME** ノブを右へ回しきり、**EXP/MIDI ジャック** を MIDI モードにします。
DOUBLETRACKER ON LED は **ブルー** に点灯します。
- ⑤ いずれかのフットスイッチを押し、MIDI チャンネル、**MIDI 出力セッティング** を保存してプレイモードへ戻ります。
- ⑥ 本機の **EXP/MIDI ジャック** に TRS ケーブルを接続します。



- ⑦ MultiSwitch Plus の **A フットスイッチ** を長押ししながら、TRS ケーブルを MultiSwitch Plus に接続し、プリセットモードを選びます。



外部コントロール

MultiSwitch Plus の使用法

MultiSwitch PlusでDecoのプリセットをセーブ&セレクトします。



NOTE : MultiSwitch PlusのフットスイッチA、B、Cは、MIDI PC (プログラム チェンジ) 1、2、3に相当します。

- 1 点灯していないフットスイッチを踏み、プリセットをリコールします。
- 2 点灯しているスイッチを押してDecoをバイパスします。

Deco のプリセットを MultiSwitch Plus でセーブする：

- 1 セーブしたいサウンドを設定します。
- 2 両LEDが**グリーン**に点滅するまで、Decoの両フットスイッチを長押しします。
- 3 MultiSwitch PlusのA、BまたはCスイッチを押しセーブ先を決めます。

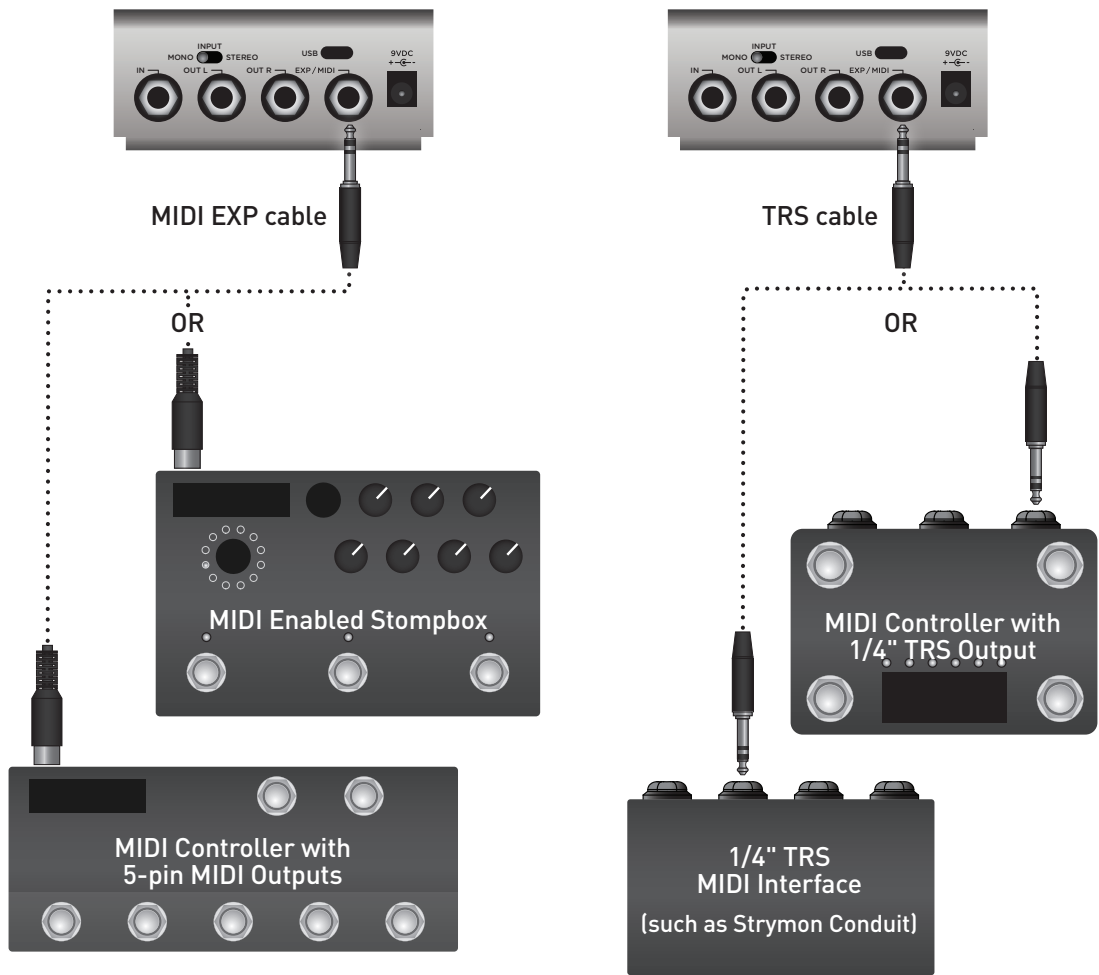
MIDI 機能

MIDI 使用の準備

DecoのEXP/MIDIジャックに接続されたMIDIコントローラーまたはインターフェースで、本機の300プリセットへアクセスできます。図のように1/4フォン出力を備えたMIDIコントローラー/インターフェース、またはStrymon MIDI EXPケーブル、Strymon Conduitを使用します。

NOTE : Strymon MIDI EXPケーブルを使用する際は、MIDI OUTモードはOFFにします。
(詳しくは[31ページ](#)をご覧ください。)

strymon.net/support/deco-v2で適応機種を掲載しています。



MIDI 機能 - MIDI 使用法

ステップ 1 - EXP/MIDI ジャックを MIDI モードにセットする。

- 1 **TAPE SATURATION** フットスイッチを長押ししながら電源を入れます。
両LEDが点滅したらフットスイッチを離します。



- 2 **DOUBLETRACKER ON** LEDが**ブルー**に点灯するまで、**LAG TIME** ノブを時計回りに回します。

MIDI 機能 - MIDI 使用法

ステップ 2 - MIDI チャンネルの設定



- 3 SATURATION ノブ**を回しMIDIチャンネルをセットします。
TAPE SATURATION ON LEDがステータスを表示します。:

- Channel1 : **グリーン**(デフォルト設定)
- Channel 2 : **アンバー**
- Channel 3 : **レッド**
- Channel 4-16 : **ブルー** (要1/4”MIDI接続)

TAPE SATURATION ON LEDが一度**ブルー**に点灯し、MIDIプログラムチェンジ (PC) メッセージを受信するまで点滅が続きます。MIDI PCメッセージを受けると、本機で使用されるMIDIチャンネルが決まり、点滅が止まります。

MIDI 機能 - MIDI 使用法

ステップ 2 - MIDI チャンネルの設定



- 4 いずれかのフットスイッチを押すと、MIDIチャンネルがセーブされ設定が終了します。

NOTE : MIDIコミュニケーションの状態をチェックするには、**TAPE SATURATION ON**フットスイッチがオフの時に、CC#10で127のバリューを本機へ送ります。MIDI接続と設定が正しければ、**TAPE SATURATION ON**フットスイッチLEDがon (点灯します) になります。

NOTE : Strymon MIDI EXPケーブルを使用してDecoへデータを送るだけの場合は、必ずMIDI OUTモードを**オフ**にしてください。(詳しくは、[31ページ](#)のMIDIOUTモードのセクションをご覧ください。)

NOTE : MIDIチャンネル設定は、フェイバリット毎やプリセット毎には保存されません。

MIDI 機能 - MIDI 使用法

ステップ 3 - MIDI OUT モードの設定

- 1 **TAPE SATURATION ON** フットスイッチを長押ししながら電源を入れます。
両LEDが点滅したらフットスイッチを離します。



- 2 **TONE ノブ**を回し本機から出力するMIDIデータを決めます。
両LEDが点滅してステータスを表示します。

- **OFF : レッド** - MIDIメッセージは出力されません。（デフォルト設定）
- **THRU : ブルー** - 本機が受けたMIDIメッセージをそのままMIDI OUTへ出力します。
- **センドCC、PC、OTHER : ホワイト** - Decoが出力するMIDI CC、PC、Sysex（システムエクスクルーシブ）メッセージがMIDI OUTから出力されます。
- **センドCC、OTHER : グリーン** - MIDI CC、Sysex（システムエクスクルーシブ）メッセージがMIDI OUTから出力されます。
- **センドPC、OTHER : パープル** - MIDI PC、Sysex（システムエクスクルーシブ）メッセージがMIDI OUTから出力されます。
- **センドOTHER : アンバー** - MIDI Sysex（システムエクスクルーシブ）メッセージがMIDI OUTから出力されます。

- 3 いずれかのフットスイッチを押すと、MIDI OUTモードがセーブされ設定が終了します。

MIDI 機能

MIDI モードにおけるプリセットの保存

MIDIモードでは、300プリセットロケーションの何処へでもプリセットが保存できます。

- ① セーブモード（保存モード）へは、**両フットスイッチ**を長押しします。
両 LEDが**グリーン**に点滅し、MIDI PCメッセージの受信待ちの状態を表示します。



- ② 現ペダルステータスをプリセットロケーションにロードするには、
TAPE SATURATION ONフットスイッチをLEDが**ブルー**に点灯するまで長押しします。



現ペダルステータスをプリセットロケーションにロードするには、（現MIDIチャンネルで）MIDIプログラムチェンジを送ります。例：

- プリセットをセーブするのに、プログラムチェンジ#10をペダルのメモリーロケーションへ送ります。
- このプリセットをリコールするには、MIDIコントローラーまたはシーケンサーからプログラムチェンジ#10を送ります。

NOTE : DOUBLETRACKER ON フットスイッチを押してセーブをキャンセルします。

MIDI スペシフィケーション

MIDI プログラムチェンジ

本機には0-299までの300プリセットロケーションがあります。MIDIプログラムチェンジメッセージは最大128（0-127）のため、これらを以下のように3つのMIDIパッチバンクに振り分けます。

MIDI BANK 0 = プリセット 0-127

MIDI BANK 1 = プリセット 128-255

MIDI BANK 2 = プリセット 256-299

- 0 FAVセッティング（詳しくは[22ページ](#)をご覧ください。）
- 1 MultiSwitch Plus フットスイッチ 1
- 2 MultiSwitch Plus フットスイッチ 2
- 3 MultiSwitch Plus フットスイッチ 3
- 127 マニュアルモード

NOTE：一部のMIDIアプリケーションやコントローラーは、MIDIプログラムチェンジを「1」からスタートします。このような場合は、MIDIプログラムロケーションを1つ上げてください。

本機は通常の電源投入時には、MIDI Bank（バンク）「0」が選ばれるため、プリセットは初めの 127を使う方が良いでしょう。MIDI PCを受けてプリセットがロードされます。

MIDI Bank1または2を使用する際は、各MIDI PCの前にMIDI Bankチェンジメッセージ（MIDI CC #0とMIDI Bank#）を送る必要があります。

バンク0&パッチ127（MIDIメッセージ）を本機が受けるとマニュアルモードになり、本機のコントロール&スイッチの現セッティング（操作面の実セッティング）に戻ります。これはプリセットとしては保存されません。

MIDI スペシフィケーション

MIDI CCs

DECO - MIDI CC NUMBERS			
CC#	PARAMETER	RANGE	VALUE
0	Bank Select	0-2	{0=Bank 1, 1=Bank 2, 2=Bank 3}
10	Tape Saturation Off/On	0, 127	{0=off, 1-127=on}
11	Mode	1-2	{1=classic, 2=cassette}
12	Saturation	0-127	
13	Volume	0-127	
14	Tone	0-127	
15	Low Trim	0-127	
16	Doubletracker Off/On	0, 127	{0=off, 1-127=on}
17	Type	1-3	{1=sum, 2=invert, 3=bounce}
18	Lag Time	0-127	
19	Wobble	0-127	
20	Blend	0-127	
21	Doubletracker Boost/Cut	0-127	
22	Auto-Flange Time	0-127	
23	Wide Stereo Mode Off/On	0, 127	{0=off, 1-127=on}
33	Bypass/On A and B	0, 127	{0=bypass, 1-127=on}
60	MIDI Expression Off/On	0, 127	{0=off, 1-127=on}
63	MIDI Clock Off/On	0, 127	{0=off, 1-127=on}
93	Remote Tap	Any	
97	Auto-Flange	0, 127	{0=off, 1-127=on}
100	Expression Pedal	0-127	{0=heel, 127 toe}

NOTE : 全てのon/offパラメーターは、0 = off、他のパラメーター（1-127） = on で実行されます。多くのMIDIコントローラーは、「0&127」が「on/off」スイッチで使用されます。

NOTE : 一部のMIDIアプリケーションやコントローラーは、MIDIプログラムチェンジを「1」からスタートします。このような場合は、MIDIプログラムロケーションを1つ上げてください。

ファクトリーリセット

工場出荷時の状態に戻すプロセスです。

設定した機能やプリセットが全てファクトリーデフォルトセッティングに変更されます。

- 1 **DOUBLETRACKER ON**フットスイッチを長押ししながら電源を入れます。
両LEDが点滅したらスイッチを離します。

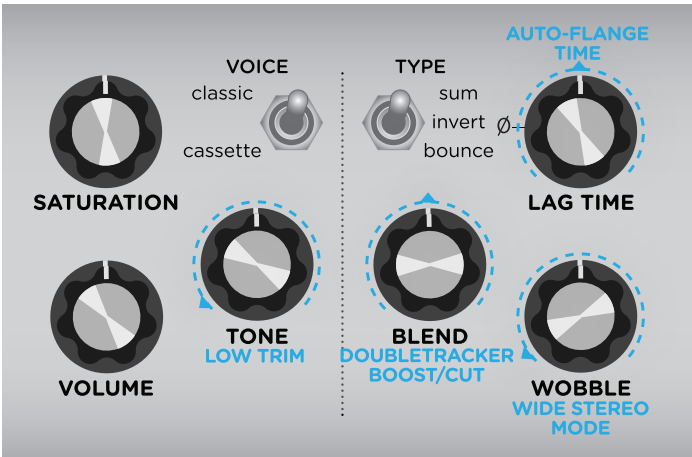


- 2 **VOLUME** ノブを0から100%まで2度回します。
両LEDが色を変え、**レッド**の点滅まで変化します。

- Turn 1 : アンバー
- Turn 2 : レッド
- Turn 3 : アンバー
- Turn 4 : 両LEDが**レッド**。この後リセットが始まります。

ファクトリーリセット

FACTORY DEFAULT SETTINGS	
EXP/MIDI Jack:	Assigned to Expression mode and configured to control the SATURATION knob
Input Level:	Instrument
Bypass Mode:	True Bypass
MIDI Channel:	1
MIDI OUT Mode:	Off
MIDI Clock Sync:	Off
MIDI Expression:	On
Live Edit, Secondary Functions:	LOW TRIM = 0% (full bandwidth) DOUBLETRACKER BOOST/CUT = 12 o'clock, (no boost/cut) AUTO-FLANGE TIME = 12 o'clock WIDE STEREO MODE = 0% (off)



Default Live Edit Setting

主な仕様

- 2台のビンテージオープンリールテープデッキの相互作用を克明に再現しました。
- テープの録音/再生プロセスによるクラシックなサチュレーション効果（サウンドニュアンス）をお届けします。
- シンプルで直感的に操作できるLag Timeコントロールで、スラップバック、テープエコー、テープフランジ、テープコーラスが設定できます。
- 3つのテープサチュレーションとトーン設定：Saturation、Volume、Tone
- ClassicとCassette 2つのサチュレーションボイス
- テープサチュレーションには40dBのボリューム補正ゲインを備えています。
- 3つのダブルトラッカーとトーン設定：LagTime、Blend、Wobble
- ダブルトラッカーサウンドを調整する3つのタイプ：Sum、Invert、Bounce
- 4つのライブエディット、セカンダリーパラメーター：LowTrim、Auto-Flange-Time、Wide Stereo Mode、+/- 3dB Doubletracker Boost/Cut
- フットスイッチ長押しでリコールできるスタジオオート-フランジ効果
- Tape Saturation、Doubletracker それぞれ独立のOn/Offフットスイッチング
- インストルメント & ラインの両信号に対応可能な最大+8dBuのワイドヘッドルーム
- プレミアムクオリティのアナログ入出力段
- TRSエクспレッションペダル、Strymon MiniSwitch、MultiSwitch Plus、TRS MIDIが接続可能なエクспレッション入力
- MIDI CCs、MIDIクロック同期、300プリセットロケーションのフルMIDI機能をサポートします。
- コンピューターとのMIDIコネクション、ファームウェアのアップデートが可能なUSB-Cジャック搭載
- ハイパフォーマンス520MHz ARMスーパースカラープロセッサ
- 32-bit浮遊演算プロセッシング
- ステレオ入出力
- ハイインピーダンス超低ノイズClass-A JFETプリアンプ入力
- ローインピーダンスステレオ出力
- 堅牢軽量なアルミシャーシ
- Designed and built in the USA

スペシフィケーション

入カインピーダンス	1 Meg Ohm
出カインピーダンス	100 Ohm
A/D & D/A	24-bit 96kHz
最大入力レベル	+10 dBu
S/N	109 dB typical
バイパススイッチング	トゥルーバイパス(リレースイッチング)
サイズ	(D) 11.4 cm x (W) 10.2 cm x (H) 4.4 cm

電源アダプター規格

9VDCセンターマイナス、300mA以上のアダプターを使用してください。
9Vより高い電圧を入力すると、本機に損傷を与えます。

Appendix 1 : サンプルセッティング

Sample Settings

WIDE WOBBLE



MIDI Program Change 0
MiniSwitch Favorite

WET SLAPBACK CASSETTE



MIDI Program Change 1
MultiSwitch Plus A

ON THE EDGE



MIDI Program Change 2
MultiSwitch Plus B

WORN OUT DECK



MIDI Program Change 3
MultiSwitch Plus C

PRETTY TAPE FLANGE



MIDI Program Change 4

ライブエディット機能

Deco にはノブやスイッチがない幾つかのパラメーターが存在します。これらをライブエディット機能と呼び、[11 ページ](#)で詳しく説明しています。

このページのサンプルセッティングは、この機能のデフォルト設定を採用しています。

Appendix 2 : パワーアップモード クイックリファレンス

パワーアップモード - クイックリファレンス

グローバルパラメーターと機能は、通常の電源オン/オフの際には設定が保持されます。

ジェネラル・オプション

- 1 **DOUBLETRACKER ON**フットスイッチを長押ししながら電源を入れます。
両LEDが点滅したらフットスイッチを離してください。
- 2 ノブやボタンの機能設定は下記をご覧ください。
- 3 いずれかのフットスイッチを押してこのパワーアップ設定から出ます。

入力レベル

図を用いた説明は [17](#)
[ページ](#)をご覧ください

SATURATION ノブを回して、設定したいモードに合わせてください。ステータスは **TAPE SATURATION ON LED** に表示されます。

- インストルメント：**グリーン** (デフォルト設定)
- ライン：**レッド**

バイパスモード

図を用いた説明は [18](#)
[ページ](#)をご覧ください

LAG TIME ノブを回して、設定したいモードに合わせてください。
DOUBLETRACKER ON LED に表示されます。

- トゥルーバイパス：**グリーン** (デフォルト設定)
- バッファードバイパス：**レッド**

ファクトリーリセット

図を用いた説明は [35](#)
[ページ](#)をご覧ください

VOLUME ノブを 0% ~ 100% まで 2 度回します。
ステータスは **両 LED** に表示されます。

パワーアップモード - クイックリファレンス

グローバルパラメーターと機能は、パワーアップモードを実行する際にアクセスできません。通常の電源オン/オフの際には設定が保持されます。

MIDI & Jack オプション

- 1 **TAPE SATURATION** フットスイッチを長押ししながら電源を入れます。
両LEDが点滅したらフットスイッチを離してください。
 - 2 ノブやボタンの機能設定は下記をご覧ください。
 - 3 いずれかのフットスイッチを押してこのパワーアップの設定から出ます。
-

EXP/MIDI ジャック モード

図を用いた説明は [19](#)
[ページ](#)をご覧ください

LAG TIME を回して設定したいモードに合わせてください。
ステータスは **DOUBLETRACKER ON** LED に表示されます。

- エクスプレッション：**グリーン**（デフォルト設定）
 - フェイバリット：**アンバー**
 - Tap：**レッド**
 - MIDI：**ブルー**
-

MIDI チャンネル

図を用いた説明は [29](#)
[ページ](#)をご覧ください

SATURATION ノブを回すと **TAPE SATURATION ON** LED がチャンネルステータスを表示します。

- 1：**グリーン**（デフォルト設定）
 - 2：**アンバー**
 - 3：**レッド**
 - 4-16：**ブルー**（受けた MIDI メッセージでチャンネルセレクトされます。）
-

MIDI アウトモード

図を用いた説明は [31](#)
[ページ](#)をご覧ください

TONE ノブを回すと両 LED がチャンネルステータスを表示します。

- OFF：**レッド**（デフォルト設定）
 - THROUGH：**ブルー**
 - ON CC、PC、OTHER：ホワイト
 - ON CC、OTHER：**グリーン**
 - ON PC、OTHER：**パープル**
 - ON OTHER：**アンバー**
-

Appendix 3 : ライブエディットコントロール クイックリファレンス

ライブエディットコントロール - クイックリファレンス

Decoには、特定ノブやスイッチのない幾つかの機能が隠されています。
これらはプリセット毎にセーブできます。詳しくは[11ページ](#)をご覧ください。

- 1 両LEDが点滅しライブエディットモードに入るまで、**TAPE SATURATION ON**フットスイッチを長押しします。
- 2 フットスイッチを離し、次の説明に従って設定します。
- 3 **TAPE SATURATION ON**フットスイッチを押して、設定を保存しライブエディットモードから出ます。

オート - フランジタイム

図を用いた説明は [11 ページ](#) をご覧ください

LAG TIME ノブを回すと両 LED が**グリーン** (fast) ~ **アンバー** (slow) でステータスを表示します。デフォルト設定は 12 時の位置です。

Low トリム

図を用いた説明は [12 ページ](#) をご覧ください

TONE ノブを回すと **TAPE SATURATION ON LED** が**グリーン** (フルバンドワイズ、デフォルト設定) ~ **アンバー** (ハイパス) でステータスを表示します。デフォルト設定は 0% です。

ダブルトラッカー ブースト / カット

図を用いた説明は [13 ページ](#) をご覧ください

BLEND ノブを回すと、両 LED が**グリーン** (-3dB ~ ユニティ) ~ **アンバー** (ユニティ ~ +3dB) でステータスを表示します。デフォルト設定はユニティレベルの 12 時の位置です。

ワイドステレオ モード

図を用いた説明は [14 ページ](#) をご覧ください

WOBBLE ノブを回すと、**DOUBLETRACKER ON LED** が**グリーン** (オフ、デフォルト設定) ~ **レッド** (オン) でコントロールの変化に反応してステータスを表示します。

MIDI クロック同期

図を用いた説明は [15 ページ](#) をご覧ください

TYPE スイッチを **bounce** (ダウン) または **sum** (アップ) にすると、両 LED が一時的に点灯します。
• **bounce** : OFF、**レッド** (デフォルト設定)
• **sum** : ON、**ブルー**

MIDI エクスプレッション

図を用いた説明は [16 ページ](#) をご覧ください。

MODE スイッチで **cassette** (down) または **classic** (up) を選びます。両 LED が一時的に点灯します。
• **cassette** : OFF、**レッド**
• **classic** : ON、**ブルー** (デフォルト設定)

品質保証に関して

本機はStrymon 日本総代理店 株式会社HotoneJapanが、ご購入後1年以内の品質保証を行っております。修理が必要な際は、購入時の保証書(購入期日及び販売店の捺印 必須)を提示の上、購入された販売店にご依頼下さい。保証書の提示が無い場合は、保証内であっても保証の対象にはなりません。

保証対象者は「購入者」であるファーストオーナーに限られます。中古品を売買するサイトや販売店からの中古品、譲渡された製品は、この保証の対象にはなりません。また、海外で購入されたstrymonプロダクトは、国内では保証の対象にはなりませんので、ご了承ください。

ノート：全てのstrymon製品はシリアルナンバーが登録&保存されています。

注：本書に記載された文章、図版、作品は、全て「著作権」及び、それに付随する「著作権隣接権」等の諸権利を保有しています。弊社では、内容を理解することを目的とする使用方法のみを許諾しております。

▲ 警告：安全のため、特に注意していただきたいこと

1. 異常があるときは電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入先もしくは、弊社迄ご連絡下さい。異常な音がしたり、煙が出て異臭がした時などは、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
2. 電気ショックを避けるため、本体を絶対に開けないで下さい。本機は、高電圧が発生しているため危険です。内部に触ると感電する恐れがあります。内部の調整や修理は、弊社にご依頼下さい。また、火事や感電を避けるために、湿度が非常に高い場所に置いたり、雨天の際に野外で使用することは避けて下さい。

▲ 警告：次のような場所での使用は出来る限り避けて下さい。

- 湿度の非常に高い場所
- 砂やほこりが多い場所
- 台所、バスルーム、湿気の多い地下室など、水のかかりやすい場所
- 空気の循環を妨げる場所、ヒーターの近くなど、温度が高い場所

品質保証に関して

■ 取り扱いについて

乾いた柔らかい布を使用して、外装をきれいに保ちましょう。
クリーナーやシンナーは使用しないでください。

■ サービスについて

このマニュアルに記載されていない操作や取扱いは行わないで下さい。
記載外の使用方で本機を使用されますと故障する場合があります。本書に基づいた使用方法に限定してください。記載外の使用法による破損や修理は、保証期間中の機器であっても保証対象外になります。本体の取扱いは慎重に行なって下さい。万が一、負傷された場合でも弊社では一切の責任を負いません。
修理が必要な場合は、ホームページ内の「修理について」ページよりご連絡ください。